



81  
まいん

# ちゅうおうくらぶ 中央俱樂部



中央俱樂部正面

## ちゅうおうくらぶ 中央俱樂部

は、昭和13年(1938)に島中心部に位置した場所(美濃島)に従業員用の娯楽場所として建築されました。2階建ての建物で、1階は島最大の大衆浴場、2階は娯楽施設になっていました。

塩風呂で温まる

心と身体  
からだ

囲碁セット10組、将棋セット5組、卓球台1組が置かれていました。

5月の祭り(島の頂上にある大山積神社のお祭り)には上方より浪曲師を招いて、公演を3日間昼夜行っていました。

また、島民大覧覧会も毎年行われ、特別講演会場としても使用されました。



海から見た  
中央俱樂部



生け花を楽しむお母さん

昭和33年撮影 別子銅山記念館所蔵

## たいしゅうよくじょう 大衆浴場

は、それぞれの浴場に、50名くらい入れる大きな浴槽が二つずつあり、島の人たちがみんな入っても十分でした。

毎日午後3時30分ごろから午後9時くらいまで自由に入浴することができ、無料でした。

浴槽の水は昭和35年ごろまで海水を沸かしていました(塩風呂)。そのため風呂から出ると塩気で体がじっとりしました。



囲碁を楽しむお父さん

昭和33年撮影

別子銅山記念館所蔵

そこで、風呂に行くときは、バケツに真水を入れて持ってきて、それを浴槽の中につけておきます。そうすると、出る頃にはちょうどいい温度になっているので、それを上がり湯に使っていました。

1番風呂にはお年寄りが多かったため、浴槽のお湯は熱く、男の子たちは冷たい海水を入れて冷ますことなどできないので、風呂に行っても中を見て、まだ入浴中のお年寄りがいれば入らなかったそうです。



中央俱樂部浴場 女湯

